

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 キッズエール桑名		
○保護者評価実施期間	6年 12月 2日		～ 6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	6年 12月 2日		～ 6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	宿題を全員でする時間を決めている。終わってもお友達が終わるまで待ってもらい、待つことの大切さを教えている。	一日の流れを決めて座って取り組む時間を作り、待っている間は本を読むなどして環境を作っている。	今後も毎日続けていき定着していく。
2	集団活動と専門的支援実施を毎日行い、専門的支援実施では、個別や小集団で行っている。	楽しく参加してもらえよう、さまざまなプログラムを作成して行っている。	一人一人の特性に合わせた活動や、社会に出た時のために協力して行うなどの活動を更に取り入れていく。
3	初日や長期休暇にはお出かけをして、社会のルールを学ぶ機会を作っている。	おかいもの学習やお店で食べる時のマナー、遊具で遊ぶ時のルール(並んで待つ等)をその都度伝えている。また、歩く際の交通マナーも学んでもらっている。	今後も色々なところに行き、たくさん経験をして、社会のルール等を学ぶ機会を作っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後学童クラブや児童館、地域の他の子どもとの交流をする機会がありません。	地域のイベントやお祭りに参加していない。	今後はイベントやお祭りなど参加し交流を深めたい。
2	専門職による支援が行えない。	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理的ケアを専門としている職員がいない。	人材確保に向けた動きや今後も職員が研修に参加もする事が必要と思われる。
3	小学校2年生の児童が最高学年のため、中学生・高校生がおらず、上の学年のお友達から学べる機会がない。	他事業所との交流など行っていないため、関わる機会が少ない。	今後は他事業所との繋がりを作ったり、相談支援事業所にも紹介してもらおう。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス・児童発達支援 キッズエール桑名

公表日 令和7年 2月 3日

利用児童数

8

回収数

8

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2	0	0	・体も動かすのが好きなので、そのような活動の際はスペースが足りないように感じる。	・活動等は相談室や支援室2も使用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	1	0	0	・個別性を捉えた関わりをしてもらっていると思う。	・ありがとうございます。今後一人一人の特性に合わせた支援をさせていただきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	3		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	3	0	2		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	0	0	0	・いつも丁寧に情報共有をいただき安心して子どもを預ける事ができています。	・ありがとうございます。更に安心して利用して頂けるよう最善を尽くしてまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	0	2		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	2	0	0		
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	2	0	0			

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	2	1	2	・やってる内容などは教えてもらえるが、たまに写真等で見せてもらえると様子が分かって良いと思う。	・活動の様子など共有させていただきたいと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	0	0	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	1	1	0	・行きたくない日が多く周りに迷惑をかけていると思う。	・そういう日はしっかりと休んで元氣チャージして次につなげていきましょう。前向きな言葉をかけたり、お子さんを
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	1	0	・朝から行きたくない日もあり、学校に遅刻してしまう事がある。	目一杯褒めたりして次につなげていきましょう。私たちもお子さんに合わせた楽しい活動を考えたり、別室にてゆっくり
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	0	・色々な迷惑を掛けているが、笑顔で対応して下さり助かっています。	過ごせるよう対応させていただきます。

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 キッズエール桑名		
○保護者評価実施期間	6年 12月 2日	～	6年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 11	(回答者数)	11
○従業者評価実施期間	6年 12月 2日	～	6年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日集中タイム(座ってプリントをする時間)を取り入れている。	一日の流れを決めて遊ぶ時間、座って取り組む時間とメリハリのある支援を行っている。	小学校に入学して、座って授業を受けられるよう少しずつ時間をのばして座れるよう定着していきます。
2	集団活動と専門的支援実施を毎日行い、専門的支援実施では、個別や小集団で行っている。	楽しく参加してもらえよう、さまざまなプログラムを作成して行っている。	一人一人の特性に合わせた活動や、小学校に入学した時にお友達と関わりをもっていけるよう取り組んでいきます。
3	初日や長期休暇にはお出かけをして、お友達と遊ぶたのしさを伝えている。	色々な場所に一緒に行って楽しいという想いを感じ取ってもらえるよう取り組んでいる。	今後も色々なところへ行き、たくさん経験をし、社会のルール等を学べる機会を作っていくたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館、地域の他の子どもとの交流をする機会がありません。	地域のイベントやお祭りに参加していない。	今後はイベントやお祭りなど参加し交流を深めたい。
2	専門職による支援が行えない。	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理的ケアを専門としている職員がいない。	人材確保に向けた動きや今後も職員が研修に参加する事が必要と思われる。
3			

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援 キッズエール森名
------	----------------------------

公表日 令和 7 年 2 月 3 日

利用児童数

11

回収数

11

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	2	1	0	・定員数がマップスになると子供たちが活動するに少し狭いのではないかと思う。(怪我等のリスクも増えるのではないかと)	・定員数がいっぱいだと子供達の過ごすスペースが狭いと感じる事がある。活動等は相談室や支援室2も使用しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	0	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	0	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	0	0	1	その時期(ハロウィン等)に合った飾りつけなどもあり子ども喜んでる。	・季節に合った壁面を作成し季節を感じていただいております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1	0	0	・言葉の支援については行われてますか？	・専門的な言語聴覚士がいないため行えてありません。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	3	0	1	・何をしているか事前に分からない。	・支援プログラムを作成し取り組んでおります。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	11	0	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10	1	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	0		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	3	6	・活動しているか知らない。	・交流ができておりません。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	3	3	3	以前あったが最近はない気がする。・親会社が変わってから？交流会がなくなってしまい少し寂しい。	・情報共有の場を考えていきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	3	1	0		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	3	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	5	2	・また保護者会があると良い。どんな子と遊んでいるのか知る機会にもなるので。 ・以前はあったが最近はない気がする。 ・まだそういった機会がない。	・保護者会の開催を考えております。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	3	0	1		
	20 こどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	2	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	2	2	4	・以前はよく発信されていたが最近無くて寂しい。	・自己評価の結果は毎年保護者様にお渡しさせていただいております。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3	0	0	・その都度案内はされているが訓練はされてないと思う。	・避難訓練は定期的に行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1	0	2		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	0	0	2	・未経験の為わからない。	・すぐにお電話でお伝えし送迎時にもお伝えさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	0	0	・とても楽しそうに(今日は行く?)と聞いてくれます。 ・楽しみにしている様子はまだ見られないが帰宅後は楽しかったと聞く事が多い。	・ありがとうございます。楽しみにしていただき感謝の気持ちでいっぱいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1	0	0		

公表 児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイリーサービス・児童発達支援 キッズエール桑名		公表日	令和7年 2月 3日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	・物を減らしたり所定の所へしまう棚をつける等、対策はしている。	・狭く感じる時がある(活動内容によって) ・子供の人数や活動の内容によって狭さや使いにくさがある。 ・1日のお預かり人数が10名を超えるときは狭く感じる。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0		・職員の数が増えて充実してきたと思われる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		・事業所の入り口に階段がありバリアフリー化されていない。今後車いすの受け入れがあれば必要となる。 ・設備が壊れこともあり、時に子供たちが使用しにくい環境になっている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間になっているか。	7	1	・毎日ごまめに掃除・アルコール消毒・トイレ掃除のやり方を決め、清潔に保っている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・支援室と小部屋がある。 ・必要に応じて相談室を使用している。	・部屋数が少なく来客室と相談室が一緒になっているためクールダウン時等静養室的な部屋がほしい。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・これからしていく予定。・定期的に業務の棚卸を行い役割分担をしたり、管理者会議での内容を現場に伝え目標を共有している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・可能なことは改善に繋げようとしている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・定期的に職員会議を設けていたり、朝礼で情報共有出来ていると思う。・現場職員からの意見を聞いて、どのようにしたら業務改善に繋げられるか意識している。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		・第三者の評価機関は設けてない。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・キッズエールでの研修が行われている。・法令研修や児童との関わり方について等、定期的な研修を社内で行い、参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・現在作成中である。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		・地域系が行われていない。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・同じ活動でも一工夫をしている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・マンネリ化しないように似たような活動でも少しアレンジしている。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・専門的支援実施を行っている。	

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	3	・終わりの全体での振り返りはないが個別ではある。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・気になった事を話をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		・学校や園、医療とはあまり連携が取れていない面もあると思われる。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		・連携は取れてない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7		・他の子供たちの関わりはない。 ・感染症リスクを考えると現時点では難しいと思う。今後の課題です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時にお伝えをしている、保護者からも情報を頂いている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	4		・以前は保護者会があったが最近はない。 ・情報の共有は行っているが、ペアレントトレーニングまでは出てないと思われる。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に行われている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		



保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		・以前は行っていたが、保護者会が最近は行われていない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・可能な限り対応させていただいていると思う。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	5	・SNSを行われていないが、これから行われる予定。・今後活用していきたい。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		・行事系が行われていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・月1に児童の活動としても取り組んでいる。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		・安全計画を作成していない。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	2		・安全計画を作成していない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	1	・その日のうちに全体に周知し再発防止に繋げている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1	・虐待防止委員を立ち上げ、月1回の会議などで話し合いをして事例の共有などして対策を考えている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0			

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス・児童発達支援 キッズエール桑名		公表日		令和7年 2月 3日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	・スペース確保のため、物を減らしたり所定の所へしまう棚をつける等の対策はしている。	・私用人数が定員いっぱいになると狭いと感じる時がある。 ・活動内容によって狭く感じる事がある。 ・一日のお預かり人数が10名を超えている場合は狭く感じる。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・職員の人数が増えて充実してきたと思われる。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	4		・事業所の入り口が階段になっているため、車イス児の受け入れができない。バリアフリー化は検討が必要。 ・部屋(スペース)が狭いこともあり、時に子供たちが使用しにくい環境になっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・主にお子さんが遊ぶスペースにマットが敷いてあり、万が一転んでも怪我をしにくいと思う。 ・毎日こまめに掃除やアルコール消毒やトイレ掃除のやり方を決め、清潔に保っている。	・細かい掃除が行き届いてない。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・支援室と小部屋がある。 ・必要に応じて相談室を使用している。	・来客と相談室が同室である。小学生女児の着替えるスペースや静養室などが必要。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・定期的に業務の棚卸を行い役割分担をした り、管理者会議での内容を現場に伝え、目標や意義を共有している。	・これからしていく予定。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・対応可能な事は改善に繋げようとしている。 ・出来事など朝礼等で共有している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・朝礼と職員会議で話し合いの場を設けている。 ・現場職員からの意見を聞いて、どのようにしたら業務改善に繋がるか思っている。 ・定期的に職員会議を設けている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		・第三者評価機関は設けていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・キッズエールでの研修が行われている。 ・法令研修や児童との関わり方について等、定期的な研修を社内で行い、参加している。			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		・現在作成中である。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0				

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1		・地域との連携支援が行われていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・同じ活動でも一工夫をしている。・マンネリ化しないように似たような活動でも少しアレンジしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・専門的支援実施を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2		・終わりの職員間での全体の振り返りはないが、個別ではある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・気になった事を話している。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	2		・地域交流が行われていない。・③の地域交流の機会の提供を行っていない。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	1	・自由遊びの時間を設けて好きな玩具、仲良しのお友達と遊べるようにしている。・支援の中で、何をして遊ぶか、この場合どうしたらか等を自ら選択できるよう見守っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		・行われていない。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1		・学校情報の受け取りは出来ているが、一部抜けている。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2		・行われていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	←※1名無回答	・学校を卒業された利用者がいない為、現時点ではしていない。・放デイから福祉サービスへの移行がまだ無い。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2		・以前は研修を受けていたが最近はない。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6		・新型コロナウイルスやインフルエンザ等さまざまな感染症がある中で地域との交流が出来てない為、今後の課題かと思う。・他の子供たちとの交流がない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		・参加していない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時にお伝えしたり、保護者からも情報をいただいている。・送迎時に事業所での様子や、家での様子を伺うことで情報共有ははかっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	5		・以前はご家族の集まりがあったが、最近はない。・情報の共有は行っているが、ペアレント・トレーニングまでは出来ていないと思われる。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時にお伝えさせている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	5		・保護者会が最近では行われてない。・以前は行っていたが、最近では実施できていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・可能な限り対応させていただいていると思う。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	5	・SNSの利用がまだできていないが、これから行っていく予定。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7		・今後実施できるように協力したいと思う。・行事系が行われていない。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・月に1度児童の活動として取り組んでいる。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	1		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0			